

21年目の葉山

村山市立葉山中学校
学校だより
第3号
令和6年5月8日

「部活動の任意加入制」スタート

校長 富塚 義幸

山形県教育委員会は、昨年度より「生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の構築」と「教員の働き方改革の推進」の両立を目ざし、以下の考え方で部活動改革を推進しています。

1 部活動の位置づけ

- ・部活動は、自主的・自発的な活動であり、任意加入が前提の活動（学習指導要領）

2 休日の部活動の考え方

- ・部活動は、平日のみとし休日は原則行わない（大会等へ学校単位での参加を除く）

3 休日のスポーツ・文化芸術活動に対する考え方

- ・部活動は、活動を希望する生徒の自主的な活動である
- ・休日の活動を希望する生徒は、地域クラブ等に所属するなどして活動する

休日の地域クラブ等での活動については、令和8年度の実施を目ざしています。葉山中学校では、今年度より「部活動の任意加入制」をスタートさせました。部活動に所属する、地域クラブ等に所属する、部活動と地域クラブ等の両方に所属する、部活動と地域クラブ等のどちらにも所属しないについて、生徒の皆さんが自主的に判断しました。また、中体連主催大会への参加については、部活動から参加、地域クラブ等から参加のいずれかを自主的に判断します。令和6・7年度は、休日の地域クラブ等での活動の移行期間となります。本校でも後期時間割開始（10月）から、休日の部活動は毎週ではなく隔週での実施に見直す案で検討しています。

5月2日、保護者会長・コーチ・顧問が出席して部活動運営会議が開催されました。部活動改革の内容も含めた「令和6年度部活動方針」や中体連主催大会の予定、スクールバス利用等について協議し、各部の話し合いも行いました。今年度の部活動加入状況は以下の通りです。

	1年	2年	3年	合計
剣道部（男女）	5名	3名	1名	9名
男子バスケットボール部	3名	3名	7名	13名
女子バスケットボール部	4名	2名	1名	7名
女子バレーボール部	3名	7名	1名	11名
男子卓球部	0名	4名	1名	5名
女子卓球部	0名	5名	3名	8名
野球部（男女）	6名	5名	7名	18名
陸上競技部（男女）	9名	13名	5名	27名
吹奏楽部（男女）	6名	0名	7名	13名

令和7年度まで、部活動は平日1日以上と日曜日を休養日に充てることを県内中学校で申し合わせています。その際、地域クラブ等での活動も考慮し負担にならないよう配慮を求めています。本校では、平日の月・木曜日、休日の日曜日（日曜日に活動を行う場合は土曜日）を休養日とします（10月から土曜日の部活動を見直し）。詳細は、各部の月別計画表を確認ください。

資料：部活動は保護者・コーチ・地域の方に支えられて成り立つ

前述した『山形県における部活動改革』では、学校の部活動数について「部活動に2人以上の顧問を配置して交代で指導に当たる」よう体制を整備することが示されています。しかし、教職員数の関係で、本校は1人顧問です（外で活動する陸上部と野球部は危機管理上2人顧問）。これまで、本校では部の募集停止と廃部について何度も話し合われてきたそうです。しかし、“保護者の協力及びコーチの指導”と“大会参加よりも競技練習の充実を優先する考え”に基づき、令和4年度末、「部に該当する生徒がいなくなるまで廃部にしないこと」を決定しました。大変難しいことではあります（様々な課題はあります）が、保護者・コーチ・教職員さらに地域の方で生徒の活動を支えていく体制を持続させていきたいです。5月2日の山形新聞の記事は、生徒を見守る大人の在り様について深く考える機会を与えてくれました。紹介します。.....

『指導者の資質』

吉田兼好の「徒然草」第52段に「少しのことにも、先達はあらまほしき事なり」とあることは知っていたが、最近その深い意味について考えている。「先達」は導き役と解されているが、指導者と理解することもできる。いつの時代もその分野（スポーツや芸術、学問、習い事、職人技など）を問わず、その道の達人や師匠、恩師などが存在する。たとえ独学といえども、先人たちがいて、その書物なり造形物に学ぶことになる。要は必ず直接的・間接的に指導者といえる人間がいる。では、どんな人が指導者になり得るのか、そして求められる資質は何か。それを考えさせられたテレビ番組があった。五輪の体操男子個人総合で2大会連続金メダルの偉業を成した内村航平さんが、高校生を指導する姿を追ったドキュメンタリーである。地味で実につまらないと思いがちな基本練習だが、それができて初めて応用がある。練習の際にできないことは、試合でも決してできない。実際にやってみせての指導。できるようになるには相当な時間が必要である一と。ごくありふれたことのようにも思われるが、彼は指導者側に求められるものとして「**その練習がなぜ必要かを言語化することが大事だ**」と語った。そして保護者を前にしての講義。最後に、**指導者は教え子の人間性を理解すること**が重要で、それは指導者の在り方をも学ぶことになる、と、さりげなく語った。素晴らしい指導者に恵まれた人は幸せである。もちろん指導される側に素質や能力があつての話となる。しかし、いくら素質に恵まれても、努力を惜しむものは開花しないことは誰しも認めるところであろう。今の時代、**本当に優れた指導者（学校では先生、そして大人）が求められている**気がして、ふと兼好の言葉が頭に浮かんだのである。

（雲海 山人）



『北村山地区中学校
駅伝競走大会より』

